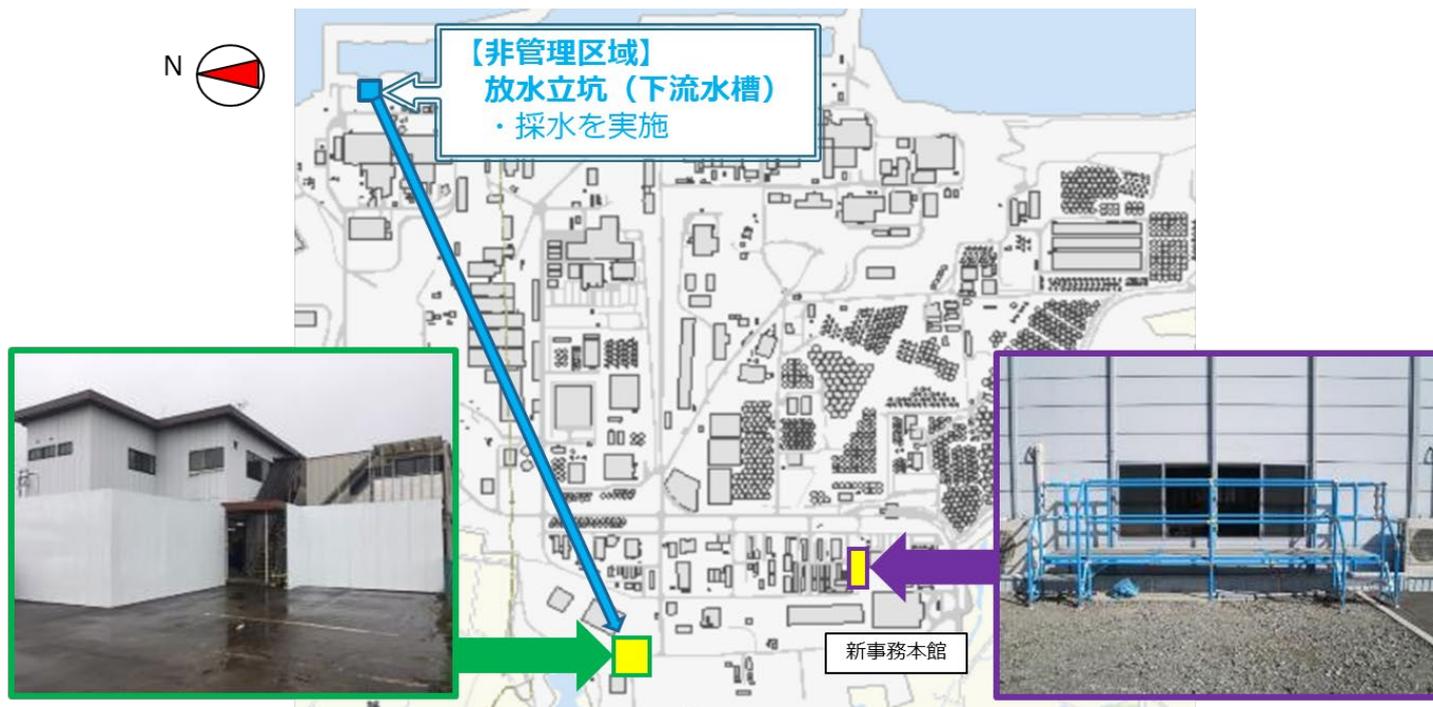


福島第一原子力発電所 環境中へ放出された水を使用した海洋生物の飼育の開始

< 参 考 資 料 >
2024年9月24日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

環境中に放出された水を使用した飼育の開始

- これまでお伝えさせていただいた通り、このたび、当社として採水や運搬の準備が整ったことから、本年10月上旬以降、これまで訓練飼育で使用した発電所構外の訓練飼育施設において、環境中へ放出された水を使用した海洋生物の飼育を開始する予定です。
- 飼育に使用する水は、2024年度第5回海洋放出期間中に、非管理区域である放水立坑（下流水槽）から採水する予定です（約10m³）。
- 今回の飼育対象は、ヒラメ（165尾）とアワビ（64個）の予定です（2024年9月24日現在）。



海洋生物訓練飼育施設(構外)
・環境中へ放出された水を使用した飼育を開始

海洋生物試験飼育施設(構内)
・トリチウム(OBT※)濃度試験等を継続実施中

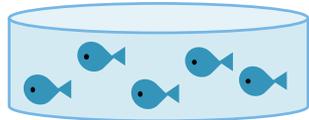
※ 有機結合型トリチウム。生物の体内で、炭素などの分子に有機的に結合しているトリチウム

[参考] 海洋生物の飼育試験

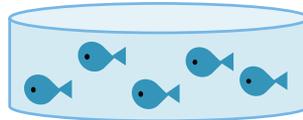
- ALPS処理水を含む海水環境で海洋生物を飼育し、海洋生物中のトリチウム濃度が海水のトリチウム濃度と変わらない（濃縮しない）ことなどをお示しすることで、ALPS処理水の海洋放出に係る理解の醸成、風評影響の抑制につなげる。
- 地元をはじめとする多くの関係者の皆さまとのコミュニケーション活動を通じ、いただいたご意見は必要に応じて計画へ反映。飼育試験の状況や進捗は、適宜公開する。

ALPS処理水の海洋放出開始前

海水（水槽1）と海水で希釈したALPS処理水（水槽2）
双方の環境下での生育状況等を確認



水槽1：発電所周辺の海水
(トリチウム濃度 1^μBq/L/μ程度)



水槽2：発電所周辺の海水で希釈したALPS処理水
(トリチウム濃度 1,500^μBq/L/μ未~~満~~)
(トリチウム濃度 30^μBq/L/μ程度)

飼育対象：

ヒラメ、アワビ、海藻（ホンダワラ）

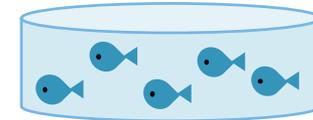
飼育対象：

- ・ トリチウム濃度 1,500^μBq/L/μ未~~満~~：
ヒラメ、アワビ、海藻（ホンダワラ）
- ・ トリチウム濃度 30^μBq/L/μ程度：ヒラメ



ALPS処理水の海洋放出開始後

海水で希釈され、実際に環境中へ放出
された水の環境下での生育状況等を確認



水槽：環境中へ放出された水
(トリチウム濃度 <1,500^μBq/L/μ)

飼育対象：ヒラメ、アワビ